

【1】 次に掲げる事項のうち、無線局の予備免許の際に総務大臣から指定されるものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 通信の相手方及び通信事項 2 免許の有効期間 3 電波の型式及び周波数 4 無線局の目的

【2】 次の記述は、特定無線局の免許の特例について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

通信の相手方である無線局からの電波を受けることによって自動的に選択される周波数の電波のみを発射する無線局のうち総務省令で定めるものであって、適合表示無線設備のみを使用するもの（以下「特定無線局」という。）を□A□開設しようとする者は、その特定無線局が□B□、電波の型式及び周波数並びに無線設備の規格（総務省令で定めるものに限る。）を同じくするものである限りにおいて、第27条の3から第27条の11までに規定するところにより、これらの特定無線局を包括して対象とする免許を申請することができる。

- | | | | |
|-------|-------------|-------|-----------|
| A | B | A | B |
| 1 5以上 | 通信の相手方、通信事項 | 2 5以上 | 目的、通信の相手方 |
| 3 2以上 | 通信の相手方、通信事項 | 4 2以上 | 目的、通信の相手方 |

【3】 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の周波数の□A□、□B□等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- | | | | |
|---------|--------|---------|----------|
| A | B | A | B |
| 1 偏差及び幅 | 高調波の強度 | 2 偏差又は幅 | 空中線電力の偏差 |
| 3 偏差 | 高調波の強度 | 4 幅 | 空中線電力の偏差 |

【4】 次に掲げる記号をもって表示する電波の型式の記述のうち、電波法施行規則の規定に照らし、その内容が正しいものを下の番号から選べ。

- 「C3F」は、主搬送波の変調の型式が振幅変調であって独立側波帯、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャンネルのもの及び伝送情報の型式がファクシミリであるものを示す。
- 「G7D」は、主搬送波の変調の型式が位相変調、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式がデータ伝送、遠隔測定又は遠隔指令であることを示す。
- 「F7E」は、主搬送波の変調の型式が周波数変調、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）であることを示す。
- 「F9E」は、主搬送波の変調の型式が周波数変調、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号の1又は2以上のチャンネルとアナログ信号の1又は2以上のチャンネルを複合したものと伝送情報の型式がファクシミリであることを示す。

【5】 次の記述は、高圧電気に対する安全施設について電波法施行規則の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

送信設備の各单位装置相互間をつなぐ電線であって高圧電気を通ずるものは、□A□若しくは丈夫な絶縁体又は□B□金属遮蔽体の内に収容しなければならない。ただし、□C□のほか出入りできないように設備した場所に装置する場合は、この限りでない。

- | | | |
|------|------------|-------|
| A | B | C |
| 1 外箱 | 接地された | 無線従事者 |
| 2 外箱 | 赤色の彩色が施された | 取扱者 |
| 3 線溝 | 接地された | 取扱者 |
| 4 線溝 | 赤色の彩色が施された | 無線従事者 |

【6】 次に掲げるもののうち、主任無線従事者の職務ではないものを、電波法施行規則の規定に照らし下の番号から選べ。

- 主任無線従事者の監督を受けて無線設備の操作を行う者に対する訓練（実習を含む。）の計画を立案し、実施すること。
- 無線業務日誌その他の書類を作成し、又はその作成を監督すること（記載された事項に関し必要な措置を執ることを含む。）
- 無線設備の機器の点検若しくは保守を行い、又はその監督を行うこと。
- 周波数、空中線電力等の指定の変更又は無線設備の変更の工事、通信事項の変更等の許可の申請を行うこと。

- 【 7 】 次の記述は、陸上移動業務の無線局の呼出しの簡易化について無線局運用規則の規定に沿って述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。ただし、□ 内の同じ記号は、同じ字句を示す。

空中線電力 50 ワット以下の無線電話により呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときは、呼出事項のうち、□ A の送信を省略することができる。

の規定により □ A の送信を省略した無線局は、その通信中 □ B を送信しなければならない。

- | A | B |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 相手局の呼出名称及び「こちらは」 | 相手局の呼出名称 1 回 |
| 2 相手局の呼出名称及び「こちらは」 | 自局の呼出名称 2 回 |
| 3 「こちらは」及び自局の呼出名称 | 少なくとも 1 回以上自局の呼出名称 |
| 4 「こちらは」及び自局の呼出名称 | できる限り 5 分間の間隔において相手局の呼出名称 1 回 |

- 【 8 】 次の記述は、陸上移動業務の無線局が無線電話通信における応答に際し順次送信すべき事項を、無線局運用規則の規定に沿って掲げたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

- | | |
|----------|-----|
| 相手局の呼出名称 | □ A |
| こちらは | 1 回 |
| 自局の呼出名称 | □ B |

- | A | B |
|---------|-------|
| 1 2 回以下 | 1 回 |
| 2 3 回以下 | 1 回 |
| 3 3 回以下 | 3 回以下 |
| 4 3 回 | 3 回 |

- 【 9 】 次の記述は、総務大臣がその職員を無線局に派遣し、その無線設備、無線従事者の資格及び員数並びに時計及び書類を検査させることができる場合について述べたものである。電波法の規定に照らし □ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。ただし、□ 内の同じ記号は、同じ字句を示す。

無線局の発射する □ A が総務省令で定めるものに適合していないと認め、当該無線局に対して □ B 電波の発射の停止を命じたとき。

の命令を受けた無線局からその発射する □ A が総務省令の定めるものに適合するに至った旨の申出を受けたとき。

無線局のある船舶又は航空機が外国へ出港しようとするとき。

その他 □ C の施行を確保するため特に必要があるとき。

- | A | B | C |
|---------|---------------|----------|
| 1 電波の質 | 臨時に | 電波法 |
| 2 電波の質 | 3 箇月以内の期間を定めて | 電波法又は放送法 |
| 3 電波の強度 | 臨時に | 電波法又は放送法 |
| 4 電波の強度 | 3 箇月以内の期間を定めて | 電波法 |

- 【 10 】 次に掲げるもののうち、免許人が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定によりその無線局について総務大臣から受けることがある処分を下の番号から選べ。

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|----------|
| 1 電波の型式の制限 | 2 通信の相手方の制限 | 3 通信事項の制限 | 4 周波数の制限 |
|------------|-------------|-----------|----------|

- 【 11 】 次に掲げるもののうち、無線従事者が総務大臣から 3 箇月以内の期間を定めてその業務に従事することを停止されることがある場合はどれか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき。
- 2 無線従事者としてその業務に従事することがなくなったとき。
- 3 無線局の運用を 6 箇月以上休止したとき。
- 4 免許証を失ったとき。

- 【 12 】 次に掲げるもののうち、使用を終わった無線業務日誌の保存期間として正しいものを、電波法施行規則の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 次の定期検査（電波法第 73 条第 1 項の検査）の日まで
- 2 使用を終わった日から 2 年間
- 3 使用を終わった日から 1 年間
- 4 無線局の免許がその効力を失う日まで